

豊島区歯科医師会会員の皆様へ

時下、益々ご清栄のことと拝察申し上げます。学術講演を下記のとおり開催いたしますので、お忙しいとは存じますが、皆様お誘いのうえ是非ご出席の程お願い申し上げます。

公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会
会 長 寺内 庸泰

平成28年度 第2回学術講演会開催のお知らせ

演 題: 保険治療におけるレジン支台築造
—レジン支台築造の位置づけとファイバーポスの有効性—

講 師: 坪田 有史先生
坪田デンタルクリニック・東京都文京区
(鶴見大学歯学部 臨床教授)

日 時: 平成 29 年 2 月 22 日(水)19:30~21:00

場 所: 豊島区歯科医師会会館 3 階ホール

*** 研修カードをご持参下さい**

支台築造は歯質欠損を補い、歯冠補綴装置を装着するための適正な支台歯形態へ回復させることが目的であり、その臨床的意義は高い。

レジン支台築造は、象牙質への接着の信頼性が向上して、その選択頻度が高くなった。さらにファイバーポスト併用レジン支台築造は、歯根破折への対策、および審美性の向上やメタルフリーを目的として臨床応用される。

2016年1月から「ジーシー ファイバーポスト」が公的保険に収載され、それまで自費治療でのみ使用されていたファイバーポストが保険治療として国民に広く使用することが可能となった。その後、複数の製品が特定保険医療材料として認可され、選択肢が増えた。それらの製品から適切なファイバーポストを選択し、複数ある接着界面を理解して使用することにより、ファイバーポスの有効性を活用したい。

今回、保険治療におけるレジン支台築造の現在の考え方と保険治療におけるレジン支台築造とファイバーポストについて解説し、臨床例を交えて临床上のテクニックについて紹介する。

略 歴

- 1989年3月 鶴見大学歯学部 卒業
- 1994年3月 鶴見大学大学院歯学研究科 修了 博士（歯学）
- 1994年4月 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座 助手
- 2007年4月 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座 助教
- 2011年4月 鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 助教（～2011年12月）
- 2012年1月 坪田デンタルクリニック（東京都文京区）院長
- 2012年4月 鶴見大学歯学部 臨床教授
- 2012年4月 日本接着歯学会 理事
- 2013年4月 鶴見大学歯学部非常勤講師（歯科理工学講座）
- 2013年6月 東京歯科保険医協会 理事
- 2014年4月 日本接着歯学会 常任理事（医療・教育委員会委員長）
- 2015年6月 東京歯科保険医協会 副会長
- 2015年7月 公益社団法人 東京都歯科医師会 学術常任委員会委員
- 2016年4月 一般社団法人 日本接着歯学会 理事（広報委員会委員長）
- 2016年8月 一般社団法人 東京都文京区小石川歯科医師会 学術委員会委員長

専門医・指導医・認定医

- 日本補綴歯科学会 専門医 1701号 2001年4月26日～，指導医 1034号 2007年9月10日～
- 日本接着歯学会 接着歯科治療認定医 47号 2001年10月2日～
- 日本歯科理工学会 Dental Materials Senior Adviser（歯科接着器材） 108号 2003年8月12日～